

夏秋トルコギキョウとカンパニュラの組合せによる効率的周年生産

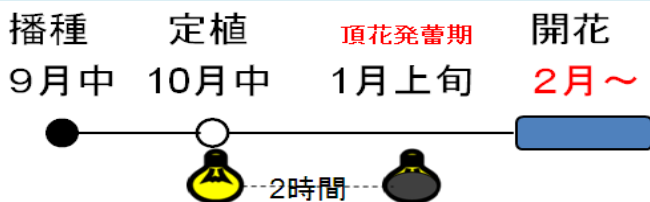
技術の概要

パイプハウス等簡易施設での夏秋出しトルコギキョウ生産では冬春季の施設の有効活用が経営上の課題

- ・カンパニュラ・メジウムが無加温電照栽培を導入
- ・同光源により秋出しトルコギキョウの早期・短茎開花を抑制

○電照によるカンパニュラの開花促進技術

10月の定植時から深夜2時間(23:00~1:00)の電照により無加温でも2月から出荷が可能。



○電照によるトルコギキョウの開花抑制技術

10~11月出しトルコギキョウに定植時から夜間(16:00~8:00)に赤色光を照射すると早期・短茎開花を抑制できる。

赤色光源
(蛍光灯またはLED)
カンパニュラと共用



期待される効果

- ・春の需要期出荷が可能
- ・秋出しトルコギキョウの品質が安定
- ・農家所得が70%向上見込み

目標とするトルコギキョウ+カンパニュラの組合せ周年栽培イメージ図

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トルコギキョウ 8月出荷				定植				開花				
カンパニュラ2 ~3月出荷		開花								定植		
トルコギキョウ 9月出荷						定植		開花				
カンパニュラ3 ~4月出荷			開花							定植		
トルコギキョウ 10~11月出荷							定植		開花			
カンパニュラ4 ~5月出荷				開花							定植	

【お問い合わせ先】 福島県農業総合センター TEL 024-958-1700
宮城県農業・園芸総合研究所 TEL 022-383-8132

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。